

いっき いっき 南丹

-29-

お元気ですか？
保健師です。



新型インフルエンザって？

「ロゾ」の予防や心掛けで、感染を防ぐ！

今、発生が懸念されている「新型インフルエンザ」。1918年に流行した「スペインかぜ」以上の被害が出る可能性があるともいわれています。

新型インフルエンザとは？

通常、インフルエンザは人と人、鳥と鳥といった同種間で感染します。しかし、ウイルスの性質が変わり、これまで人に感染しなかったインフルエンザウイルスが人に感染するようになったものを、「新型インフルエンザ」といいます。

これまでに流行した新型インフルエンザは？

- 1918年「スペインかぜ」
- 1957年「アジアかぜ」
- 1968年「香港かぜ」
- 1977年「ソ連かぜ」

いずれも世界的流行をしました。

なぜ、大流行する恐れがあるの？

新型インフルエンザは数十年周期で大流行が起きています。現在、アジアをはじめ世界各地で鳥インフルエンザが発生しており、感染した鳥と濃厚な接触をした場合に鳥から人に感染、約200人が死亡しています。原因となる鳥ウイルスは、すぐに人に感染することはありませんが、これが人ウイルスに変異すると、新しいウイルスに免疫のない私たちへの感染の大流行が起きると考えられています。

大流行を止めることはできるの？

世界的な大流行（パンデミック）を止めることは非常に困難だと考えられています。新型インフルエンザ用のワクチンは、新型インフルエンザが発生（変異した人ウイルスが人に感染）しないと製造できません。現在、鳥と人との間で

感染している鳥ウイルスから「プレパンデミックワクチン」が製造されていますが、どの程度の効果があるかは分かっていません。国内においては、インフルエンザに効く薬もあり、感染症予防対策を徹底すれば感染をある程度抑えることはできるでしょう。

流行した場合、どの程度の人が感染するの？

通常のインフルエンザの場合、800万人から1,200万人程度ですが、新型インフルエンザの場合、日本の人口の4分の1（約2,500万人）が感染するのではないかと予測されています。

感染ルート・症状は？

通常のインフルエンザと同様、咳、くしゃみ、つばなどに含まれるウイルスを吸い込むことにより感染すると考えられています。発熱、咳、結膜炎、呼吸器症状や肺炎、多臓器不全に至る重症なものまで推測されますが、現時点ではその程度が予測できません。

どんな予防や心掛けが必要？

①手洗い、うがいを小まめに行い、熱、咳、くしゃみなどの症状があるときは、咳エチケットを心掛けましょう。（マスクを着用す

るか、ティッシュなどで口と鼻を押さえ、他の人から顔をそむけて1m以上離れましょう）

②栄養のある食事を心掛け、十分な睡眠をとり、体力と抵抗力をつけておきましょう。

③新型インフルエンザが流行し、外出を避ける事態になることも想定し、食料、日用品、医療品などを備蓄しておきましょう。

ご存じですか？

化学物質過敏症

化学物質過敏症とは、薬物や化学物質をほんのわずかな量でも摂取することによって、健康被害を引き起こすことをいいます。人体の許容量には個人差があり、香水や整髪料、たばこの煙など、微量でも、ぜんそく、気管支炎、アレルギー性鼻炎などの不定愁訴（原因がはっきりしない体の不調）、シックハウス症候群と呼ばれる症状などを引き起こすことがあります。

現時点では、まだ十分に発生メカニズムが解明されていませんが、実際に困っておられる方がいらっしやいます。

不特定多数の方と出会う機会があるときには、「過敏症の方がいらっしゃるかも…」そんな心配りがあるといいですね。